

2025年度前期「企画に対する学生評価」

実習企画(または演習企画)に対する学生評価

あなた自身について	問1 事前に配布された資料を読むなど予習をしましたか。 問2 実習(演習)に積極的に参加しましたか。
実習(演習)計画	問3 実習(演習)の目的は履修要項やガイダンスで理解できましたか。 問4 実習(演習)はおおむねスケジュールに沿って行われましたか。 問5 学生数に対して指導担当者数は適切でしたか。 問6 指導担当者は適切な指導能力を備えていましたか。
実習(演習)内容	問7 実習(演習)の内容は、関連する講義科目の内容と対応がとれていましたか。 問8 事前に配布された資料は、実習(演習)を進める上で役立ちましたか。 問9 実習(演習)によって技術を十分に習得することができましたか。 問10 実習(演習)内容の難易度は適切でしたか。 問11 課された提出物(レポートなど)の量や内容は適切でしたか。
実習(演習)環境	問12 実習(演習)用の設備・機材・用具などは性能に問題はありませんでしたか。 問13 実習(演習)用の設備・機材・用具などは量の面で十分でしたか。 問14 安全に対する適切な指導と配慮がなされていましたか。 問15 学生の人権に対する配慮がなされていましたか。
総合評価	問16 この実習(演習)は全体として満足できるものでしたか。

- | | |
|-------------|-----------|
| ⑤ 強く思う | (非常に良い) |
| ④ やや思う | (良い) |
| ③ どちらとも言えない | (普通) |
| ② あまりそう思わない | (あまり良くない) |
| ① 全くそう思わない | (良くない) |

科目名：基礎生物学実習

(医学科第1学年前期／必修)

履修者数：95 配付数：94 回収数：92 回収率：97.9%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
3.3	4.6	4.4	4.7	4.6	4.8	4.6	4.6	4.4	4.4	4.2	4.7	4.7
問14	問15	問16										
4.7	4.8	4.7										

*評価に対するコメント

基礎生物学実習担当教員

令和7年度の基礎生物学実習の評価は、問2以降は全て4点台なので、概ね良好な評価をいただいたと感じている。前年度に生物学教室では助教の先生が1名着任されたことから、実習課題（提出物）のフィードバックがこれまでよりも速やかに実施でき、きめ細やかに行き届いた指導が可能になったことが高評価につながったと思われる。学生のコメントの中で、途中、実習班のメンバーを入れ替えてみてはどうかという提案もあった（これまで当実習の実習班はメンバーが固定されていた）。各学生が1学年の前期の早いうちにより多くの学生と交流でき、学生の実習パフォーマンスの向上を促すためにも、今後、検討する価値があると思われる。

科目名：医用物理学実習

(医学科第1学年前期／必修)

履修者数：95 配付数：95 回収数：69 回収率：72.6%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
4.0	4.6	4.1	4.6	4.4	3.9	4.2	4.4	4.1	4.1	3.7	4.3	4.4
問14	問15	問16										
4.4	3.9	3.8										

*評価に対するコメント

医用物理学実習担当教員

総合評価は3.8で、昨年度より0.2ポイント減少した。個別の項目では問15（人権）が0.3ポイント減少したのが気付きである。その他の項目は昨年度と同程度であった。それゆえ、総合評価の減少は問15が関係していると推察される。自由記載欄では教員の説明不足に対する不満が散見された。実習内容、指導方法はここ数年、変更していない上、評価も大きく変わっていないことから、説明の意図が今年度の学生に正しく伝わっていない可能性がある。指導方法について再検討する必要があるかもしれない。

科目名：形態学実習 I

(医学科第 2 学年前期／必修)

履修者数：97 配付数：97 回収数：95 回収率：97.9%

*評価結果 (平均)

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8	問 9	問10	問11	問12	問13
3.8	4.3	4.2	4.3	4.2	4.4	4.3	4.4	4.3	4.2	4.1	4.4	4.4
問14	問15	問16										
4.4	4.4	4.4										

*評価に対するコメント

形態学実習 I 担当教員

形態学実習 I では、組織学実習（顕微鏡観察およびスケッチ、16回）と骨学実習（7回）を実施しました。骨学実習にあたっては、整形外科学講座および耳鼻咽喉科学講座の先生方にご協力をいただきました。本実習については高い評価をいただいておりますが、一方で、いくつかの改善点についてもご指摘を受けております。これらの点を踏まえて改善を行い、令和 8 年度には、より充実した「形態学実習 I」を展開していきたいと考えております。

科目名：生化学実習

(医学科第2学年前期／必修)

履修者数：97 配付数：96 回収数：91 回収率：94.8%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
4.0	4.2	3.9	4.3	4.1	4.2	4.2	4.3	4.2	3.9	3.9	4.2	4.1
問14	問15	問16										
4.4	4.4	4.2										

*評価に対するコメント

生化学実習担当教員

開学以来、伝統的に「酵素反応」実習を行ってきましたが、今後の医学・医療で活躍する学生にとって、より有益な技術・考え方を体験してもらうために、今年度から50年ぶりに、「分子生物学」を中心とした実習に変更しました。改訂初年度ということで、指導する教官の方も多少混乱がありましたが、学生も頑張り、なんとか無事に実習を遂行することができました。生化学の講義と連関させ、生きた知識として頭に定着してもらうよう、来年以降も、さらに問題点を改善して運用していきたいと思えます。今年の学生さんのように、来年度も、自分の将来を見据えて地道に努力する姿勢が定着（学風）してもらうことを願っています。

科目名：薬理学実習

(医学科第3学年前期／必修)

履修者数：107 配付数：107 回収数：85 回収率：79.4%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
4.1	4.2	4.1	4.1	4.0	3.9	4.1	4.2	4.0	3.8	3.5	3.8	4.0
問14	問15	問16										
4.2	4.1	3.8										

*評価に対するコメント

薬理学実習担当教員

実習の時間配分や、学生に対する接し方、教員間の連携不足についてのコメントを頂いた。来年度は時間配分を見直し、無理のないスケジュールにしたい。一方、薬物の効き方や、機序を理解する上で有意義な実習であったとのコメントも頂いた。来年度も、さらに工夫を凝らしていきたい。

科目名：微生物学実習

(医学科第3学年前期／必修)

履修者数：107 配付数：107 回収数：91 回収率：85.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
4.4	4.4	4.3	4.5	4.3	4.5	4.4	4.5	4.3	4.3	4.1	4.4	4.5
問14	問15	問16										
4.5	4.6	4.5										

*評価に対するコメント

微生物学実習担当教員

実習室の設備が古い、不足しているなどの意見は、学生の声「ひとことふたこと」にあげてもらえると改善されるかもしれません。教員もそう思い、これまで予算申請しています。予習レポートは、実習書を読んでこない学生が多いためのものであり、評価する目的ではありません。

科目名：寄生虫学実習

(医学科第3学年前期／必修)

履修者数：107 配付数：105 回収数：96 回収率：91.4%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
3.6	4.2	4.1	4.1	3.6	3.9	4.2	4.1	4.0	3.7	3.2	3.8	3.9
問14	問15	問16										
4.2	4.2	3.9										

*評価に対するコメント

寄生虫学実習担当教員

昨年度は多くの顕微鏡を修理して使用可能な状態にしましたが、機種 of 年式や性能にばらつきがあり、使い勝手に差が生じていました。そこで次年度は、可能であればバーチャルスライドやモニターを積極的に活用し、全員が共通の認識と理解を持てるよう、環境や進行方法に工夫を加えていきたいと考えています。

科目名：病理学実習

(医学科第3学年前期／必修)

履修者数：109 配付数：109 回収数：81 回収率：74.3%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
3.7	4.2	4.1	4.5	4.2	4.5	4.5	4.3	4.1	4.2	4.4	4.5	4.5
問14	問15	問16										
4.5	4.5	4.4										

*評価に対するコメント

病理学実習担当教員

実習形態は、顕微鏡観察によるガラススライドとバーチャルスライドを併用して行っております。腫瘍病理と免疫病理で折半で担当しており、実習形態については各講座特色のある形式で行われています。腫瘍病理では各回のレポート提出で、免疫病理は最終回に試験を行って評価しています。学生さんからの評価はほぼ4点台で目的はほぼ到達されていると考えます。教員からの資料や説明はあくまでも道標に過ぎません。各自教科書を参考にして学び直して欲しいと切に思います。

科目名：衛生・公衆衛生実習

(医学科第4学年前期／必修)

履修者数：95 配付数：95 回収数：57 回収率：60.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
3.9	4.3	4.3	4.5	4.4	4.5	4.4	4.5	4.4	4.2	3.2	4.5	4.3
問14	問15	問16										
4.4	4.4	4.2										

*評価に対するコメント

衛生・公衆衛生実習担当教員

疫学も含んだ衛生・公衆衛生領域に関する実践的な部分について演習や専門家の話を伺う形式で行いました。臨床医となる場合も理解が必要なものが多く含まれており、また、実際の医師の進路としても参考になるものだったと思いますので、この領域の生涯学習を継続してもらえたらと思います。

科目名：法医学実習・演習

(医学科第4学年前期／必修)

履修者数：95 配付数：95 回収数：76 回収率：80.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
3.6	4.2	4.1	4.2	4.1	4.3	4.2	4.2	4.2	4.1	4.0	4.3	4.1
問14	問15	問16										
4.3	4.4	4.2										

*評価に対するコメント

法医学実習・演習担当教員

医学部教育における法医学の到達目標は、異状死体の検屍（検案）と、実践に即した医師法の適切な理解である。今年度も昨年同様、manabaにて骨実習を行った。評点が概ね4点以上であり、学生に興味をもって受け入れられたことに感謝している。臨床現場で実際に法医学的思考が必要となった時に、的確な問題解決能力を発揮して頂きたい。

科目名：基礎看護技術学 I（共通技術）

（看学科第 1 学年前期／必修）

履修者数：61 配付数：61 回収数：60 回収率：98.4%

*評価結果（平均）

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8	問 9	問10	問11	問12	問13
4.4	4.8	4.6	4.7	4.5	4.7	4.7	4.7	4.4	4.5	3.9	4.1	4.6
問14	問15	問16										
4.7	4.5	4.5										

*評価に対するコメント

基礎看護技術学 I（共通技術）担当教員

評価から学生の皆さんが予習をして積極的に授業に参加したことがわかりました。課されたレポートなどの量や内容は適切かが 3.9 と他より低値でした。講義演習での学びが深まるように予習・復習の学習課題がありますので課題量は多くならざるを得ません。ですが、全体としては満足できるが 4.5 であったことから充分学べたのではと推測します。

科目名：基礎看護技術学Ⅲ（診療関連技術）

（看学科第2学年前期／必修）

履修者数：58 配付数：58 回収数：54 回収率：93.1%

*評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
4.4	4.6	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3	4.2	4.1	3.6	4.2	4.2
問14	問15	問16										
4.3	4.2	4.3										

*評価に対するコメント

基礎看護技術学Ⅲ（診療関連技術）担当教員

皆さんが講義・演習に積極的に取り組んでいたことが伝わってきました。この科目では安全に援助技術が実施できるように、必要な知識の定着のため小テスト・予習確認テストを実施しています。また、事後課題は自己の課題と学びを明確にし、看護技術の向上につながるよう設けています。次年度も根拠に基づいた看護技術の習得に繋がるような演習企画を検討していきます。

科目名：基礎看護技術学Ⅳ（看護過程）

（看学科第2学年前期／必修）

履修者数：58 配付数：57 回収数：48 回収率：84.2%

*評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
4.2	4.4	4.2	4.3	4.2	4.3	4.1	4.3	4.0	4.0	3.6	4.3	4.2
問14	問15	問16										
4.2	4.2	4.2										

*評価に対するコメント

基礎看護技術学Ⅳ（看護過程）担当教員

学生の皆さんが予習をし、積極的に授業に参加したことが伝わってきました。課題量が多いことが課題ですが、看護過程は思考の技術なため思考を可視化するためには、口頭または文章で言語化することが必要です。そのため課題が多くならざるを得ません。ご理解いただけましたら幸いです。

科目名：地域包括ケア実習

(看護学科第3学年前期／必修)

履修者数：58 配付数：58 回収数：43 回収率：74.1%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
4.0	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.4	4.3	4.3	4.0	4.4	4.2
問14	問15	問16										
4.3	4.4	4.2										

*評価に対するコメント

地域包括ケア実習担当教員

令和7年度の地域包括ケア実習はすべての項目が「4.0」以上であり、科目の満足度に関する問16も「4.2」であったことから学生の実習への満足度は高かったと言える。また、問2と問9の結果から、学生はこの科目に積極的に取り組み、十分な学びを得たことが評価できる。一方、自由記載からは学生が企画して地域で7月に実施する健康セミナー開催施設環境に関する意見がみられたことから、次年度は今年度の実施状況を踏まえ、開催場所についての検討が必要であると考えられる。

科目名：実践看護技術学 I（成人）

（看学科第 3 学年前期／必修）

履修者数：58 配付数：58 回収数：57 回収率：98.3%

*評価結果（平均）

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8	問 9	問10	問11	問12	問13
4.2	4.4	4.3	4.3	4.2	4.4	4.2	4.3	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2
問14	問15	問16										
4.4	4.4	4.3										

*評価に対するコメント

実践看護技術学 I（成人）担当教員

多くの学生が事前学習に取り組み、積極的に演習に参加していました。授業評価はすべて 4.0 以上であり、演習企画はおおむね良好だったと評価しています。事前学習内容のフィードバック方法や演習内容について改善の意見をいただいたので、よりよい演習企画となるよう検討していきます。

科目名：実践看護技術学Ⅱ（精神・母性・小児）

（看学科第3学年前期／必修）

履修者数：58 配付数：56 回収数：45 回収率：80.4%

*評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
4.4	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5	4.4	4.5	4.0	4.1	3.9	4.3	4.3
問14	問15	問16										
4.3	4.4	4.4										

*評価に対するコメント

実践看護技術学Ⅱ（精神・母性・小児）担当教員

実践看護技術学Ⅱは、母性、小児、精神看護学合同の演習科目であり、各領域担当教員の演習企画において行いました。臨地実習を見据え、確実に出席し実践を通して学ぶことを重要視します。今年度も皆さんが真剣に取り組んでいた結果、満足感の得られる演習になりました。昨年度のコメントから、課題の難易度を再検討し実施しました。来年度も評価を参考に計画的に実施していきます。

科目名：実践看護技術学Ⅲ（高齢者・在宅）

（看学科第4学年前期／必修）

履修者数：60 配付数：60 回収数：53 回収率：88.3%

*評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
4.0	4.5	4.1	4.5	4.4	4.4	4.5	4.3	4.2	4.2	4.4	4.5	4.5
問14	問15	問16										
4.6	4.5	4.5										

*評価に対するコメント

実践看護技術学Ⅲ（高齢者・在宅）担当教員

授業受講の姿勢は、どのグループも自律的で真面目に取り組んでいた。技術の実施やその際の注意事項についても練習を重ね習得できた。今年度は初めて口腔ケアモデルを用いたケアの実施も可能となり学習の幅が広がった。技術の実施内容に対する時間配分には改善の余地があり、今後の計画に反映していきたい。演習では教員が作成した動画教材を確認しながら、グループメンバーと繰り返し実施することで技術を高めることができた。また、実践看護技術学Ⅲ終了直後から始まった実習において、修得した技術を実践することができた。